

別紙様式 2 号

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1. 推進事業（全取組共通）

事業費（要望額）		900,740円（うち交付金 900,000円）				都道府県名	千葉県	
うち地域提案メニュー分		円（うち交付金 円）				事業実施年度	平成20年度	
現状と課題（※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。）								
経営力の強化		<p>1 担い手への利用集積の促進</p> <p>県平均経営耕地面積（17年）は1.41ha（田1.09ha、畑0.58ha）と零細規模であり、平地農業地域、中山間農業地域、都市的農業地域いずれについても農地の利用集積はあまり進んでいない。平成20年度末の利用集積率は16.1%であり、集積対象者である担い手の不足、農業所得の不安定さ、資産保有意識の強さ、相続等による非農家所有農地の増加等が流動化の妨げになっている。</p> <p>今後は、効率的かつ安定的な農業経営を育成するとともに、特に本県農地の6割を占める水田作の効率化を図り、意欲のある農業者に農地を集積して低コスト化を進めることが大きな課題となっている。</p>						
課題を解決するため対応方針（※上記の課題に対応させて記述すること。）								
経営力の強化		<p>1 担い手への利用集積の促進</p> <p>品目横断的経営安定対策の対象者である認定農業者を育成するとともに、担い手のいない集落においては、集落での組織化・法人化に向けた説明会を開催し、集落における土地利用調整に関する合意形成を図り集落営農・法人化を推進し、効率的な経営を行えるよう農地の利用集積を促進する。</p> <p>また、農地保有合理化法人と各市町村農業委員会の活動を強化し、農地利用集積体制の整備を進め、担い手の規模拡大と低コスト化を支援していく。</p>						
都道府県における目標関係							備考	
政策目標	取組名	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況				成果目標の具体的な実績	国による点検評価
			計画時（平成19年度）	実施後（平成20年度）	目標（平成20年度）	達成率		
担い手への農地利用集積の促進	農地利用集積の推進	担い手への農地利用集積率の増加	担い手への農地利用集積率 16.81% （平成20年3月末）	担い手への農地利用集積率 17.4% （平成21年3月末）	担い手への農地利用集積率 21.1% （平成21年3月末）	13.9%	$\frac{\text{利用集積率の増加実績 } 0.6\%}{\text{利用集積率の増加目標 } 4.3\%} \times 100 = 13.9\%$	全体の達成率が13.9%と低く、目標達成に向けた取組の向上が必要 担い手の農地利用集積が目標達成していないため改善指導を行う。
○地域提案メニューの実績と成果								

事業実施地区数 （ア）	評価対象外地区数 （イ）	評価対象地区数 （ウ）	評価対象外の地区がある場合、 その代表的な理由	総合所見
1	0	1	—	目標は達成できなかったが、市内33地区で説明会を実施し、集落営農の法人化や農業経営基盤強化促進事業について広く普及が図られた。その結果、2地区で新たに集落営農が組織されており、今後も継続して農地利用集積の推進を図っていく。

